

令和 4 年

# 福岡県の人口と世帯年報

— 令和 3 年 10 月～令和 4 年 9 月 —

福 岡 県

# 第1 人口と世帯

## 1 人口の動向

### (1) 総人口

**令和4年10月1日現在の総人口は5,117,967人**  
**総人口の52.99%を占める福岡地域**

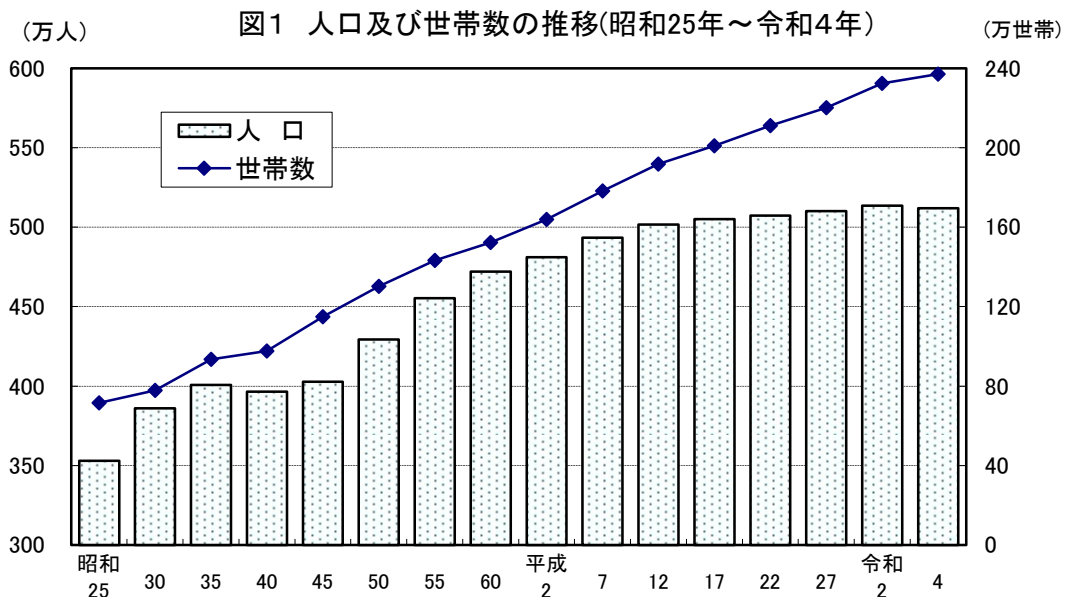
令和4年10月1日現在の福岡県の総人口は5,117,967人で、1年間(令和3年10月1日～令和4年9月30日)に、5,404人(0.11%)減少した。(表1、図1)

人口を男女別にみると、男性は2,423,076人、女性は2,694,891人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.91となり、前年に比べ0.03ポイント上昇している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,712,021人(総人口の52.99%)で最も多く、以下、北九州地域が1,234,905人(同24.13%)、筑後地域が782,785人(同15.29%)、筑豊地域が388,256人(同7.59%)となっている。(表1)

表1 総人口、構成比、増減数及び増減率

	総人口(人)		構成比(%)		増減数(人)	増減率(%)
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年		
福岡県	5,117,967	5,123,371	100.00	100.00	-5,404	-0.11
(男)	2,423,076	2,425,103	47.34	47.33	-2,027	-0.08
(女)	2,694,891	2,698,268	52.66	52.67	-3,377	-0.13
市	4,522,339	4,525,403	88.36	88.33	-3,064	-0.07
郡	595,628	597,968	11.64	11.67	-2,340	-0.39
福岡地域	2,712,021	2,698,543	52.99	52.67	13,478	0.50
筑後地域	782,785	787,925	15.29	15.38	-5,140	-0.65
筑豊地域	388,256	392,738	7.59	7.67	-4,482	-1.14
北九州地域	1,234,905	1,244,165	24.13	24.28	-9,260	-0.74



## (2) 市町村別人口

### 人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,631,409人）及び北九州市（924,143人）の2市で福岡県の5割近くを占めており、以下、久留米市（301,150人）、飯塚市（124,671人）、春日市（110,646人）の順が続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,631,409	31.88
2	北九州市	924,143	18.06
3	久留米市	301,150	5.88
4	飯塚市	124,671	2.44
5	春日市	110,646	2.16
6	大牟田市	107,851	2.11
7	筑紫野市	105,070	2.05
8	大野城市	103,006	2.01
9	糸島市	99,821	1.95
10	宗像市	97,180	1.90

## (3) 人口密度

### 人口密度は春日市がトップ

本県の1km<sup>2</sup>当たりの人口は、1,026.1人となっており、市町村別にみると、春日市が7,819.5人で最も高く、以下、志免町が5,341.9人、福岡市が4,749.8人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	
1	春日市	7,819.5
2	志免町	5,341.9
3	福岡市	4,749.8
4	大野城市	3,830.6
5	粕屋町	3,464.7
6	水巻町	2,538.6
7	中間市	2,458.6
8	太宰府市	2,457.9
9	北九州市	1,876.4
10	須恵町	1,775.7

## 2 年齢別人口

### 平均年齢は 47.1 歳

本県人口の平均年齢は 47.1 歳で、前年(47.0 歳)に比べ 0.1 歳上昇した。

人口を年齢 3 区分別にみると、年少人口(0～14 歳)が 649,633 人(県人口の 13.1%)、生産年齢人口(15～64 歳)が 2,894,253 人(同 58.4%)、老年人口(65 歳以上)が 1,407,912 人(同 28.4%)となっている。

1 年間に、年少人口は 6,964 人、生産年齢人口は 421 人それぞれ減少したが、老年人口は 2,172 人増加している。(表 4)

また、人口構成比でみると、年少人口は 0.13 ポイント減少したのに対し、老年人口は 0.07 ポイント増加した。

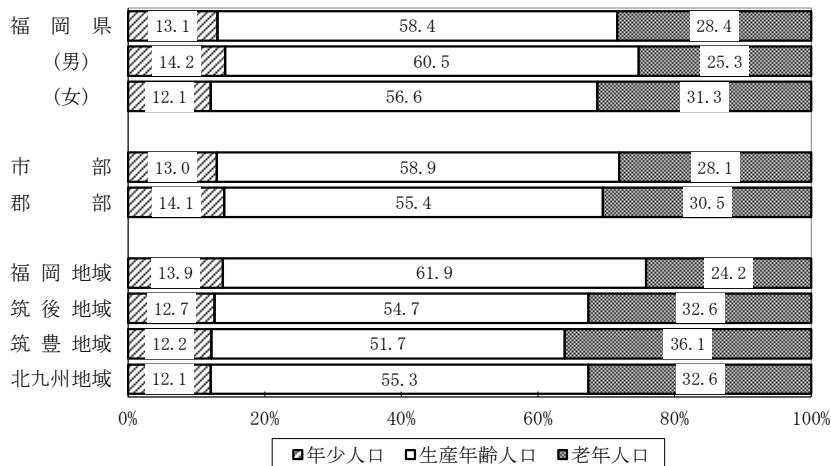
表 4 年齢(3区分)別人口 (平成17年～令和4年)

年 次		令和4年	令和3年	令和2年	平成27年	平成22年	平成17年
人 口(人)	総 数	5,117,967	5,123,371	5,135,214	5,101,556	5,071,968	5,049,908
	平均年齢	47.1	47.0	46.7	45.7	44.5	42.9
	年少人口 (0～14歳)	649,633	656,597	662,179	676,045	684,124	701,195
	生産年齢人口 (15～64歳)	2,894,253	2,894,674	2,911,353	3,057,855	3,227,932	3,326,610
	老年人口 (65歳以上)	1,407,912	1,405,740	1,395,142	1,304,764	1,123,376	997,798
構成比(%)	年少人口	13.1	13.2	13.3	13.4	13.6	14.0
	生産年齢人口	58.4	58.4	58.6	60.7	64.1	66.2
	老年人口	28.4	28.4	28.1	25.9	22.3	19.9
前年差(人)	年少人口	-6,964	-5,582	-	-	-	-
	生産年齢人口	-421	-16,679	-	-	-	-
	老年人口	2,172	10,598	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。  
令和2年以前の数値は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が 61.9%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い 24.2%となっている。一方、生産年齢人口割合が 51.7%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い 36.1%となっており、県内地域間で生産年齢人口、老年人口割合に 10%以上の差が見られる。(図 2)

図 2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

### 3 世帯の動向

#### 総世帯数は2,371,010世帯

令和4年10月1日現在の福岡県の総世帯数は2,371,010世帯で、1年間に28,288世帯、1.21%増加している。

1世帯当たり人員は2.16人で、前回に比べ0.03人減少しており、世帯規模が縮小している。(表5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	2,371,010	2,342,722	2.16	2.19
市	2,125,784	2,100,054	2.13	2.15
郡	245,226	242,668	2.43	2.46
福岡地域	1,302,102	1,279,808	2.08	2.11
筑後地域	325,652	322,162	2.40	2.45
筑豊地域	170,780	170,451	2.27	2.30
北九州地域	572,476	570,301	2.16	2.18

世帯数を市町村別にみると、福岡市が857,512世帯(総世帯の36.2%)で最も多く、次いで北九州市の438,058世帯(同18.5%)、久留米市の131,655世帯(同5.6%)と上位3市で世帯全体の約6割を占めている。

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の2.77人で、次いで久山町の2.75人となっており、上位10市町村中5市町が筑後地域となっている。(表6)

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
	1	福岡市	857,512	大木町
2	北九州市	438,058	久山町	2.75
3	久留米市	131,655	筑前町	2.70
4	飯塚市	56,486	東峰村	2.68
5	大牟田市	48,745	大刀洗町	2.66
6	春日市	47,209	みやま市	2.65
7	大野城市	43,893	うきは市	2.64
8	筑紫野市	43,528	八女市	2.62
9	宗像市	42,036	新宮町	2.60
10	糸島市	39,558	宇美町	2.60

## 第2 人口動態

### 1 人口増減数

#### 1年間に5,404人(0.11%)減少

1年間（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の総人口の減少5,404人(-0.11%)の内訳は、自然増減が-23,365人(-0.46%)、社会増減が17,961人(0.35%)となっており、自然減少が社会増加を上回った。

4地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では減少している。（表7、表8、図3）

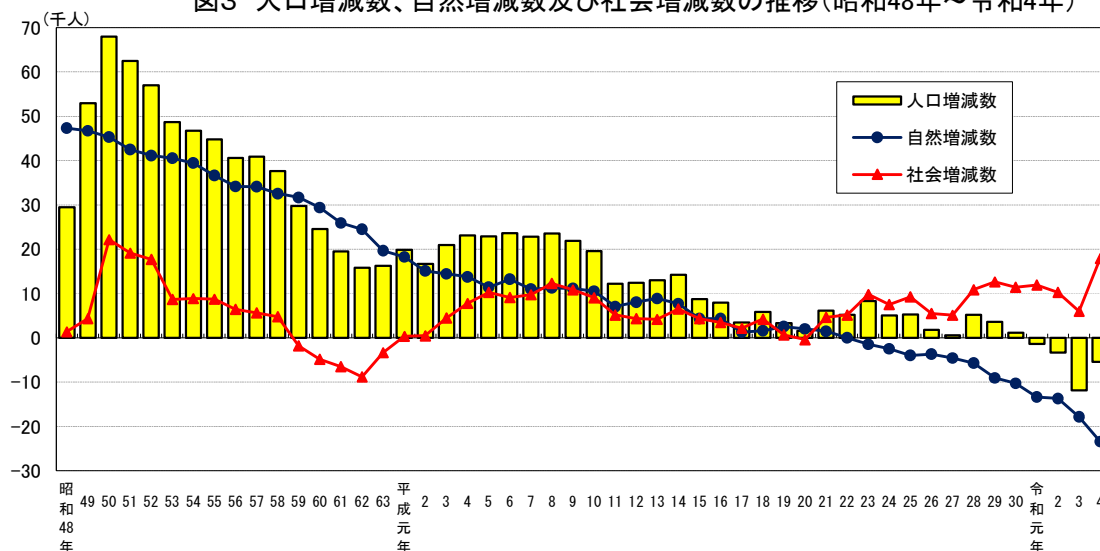
表7 人口増減数、自然増減数及び社会増減数(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	人口増減数(人)		自然増減数(人)		社会増減数(人)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	-5,404	-11,843	-23,365	-17,840	17,961	5,997
(男)	-2,027	-5,848	-10,844	-8,534	8,817	2,686
(女)	-3,377	-5,995	-12,521	-9,306	9,144	3,311
市部	-3,064	-9,203	-20,011	-15,187	16,947	5,984
郡部	-2,340	-2,640	-3,354	-2,653	1,014	13
福岡地域	13,478	8,832	-4,306	-1,574	17,784	10,406
筑後地域	-5,140	-6,082	-5,636	-4,767	496	-1,315
筑豊地域	-4,482	-4,676	-4,159	-3,786	-323	-890
北九州地域	-9,260	-9,917	-9,264	-7,713	4	-2,204

表8 人口増減率、自然増減率及び社会増減率(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	人口増減率(%)		自然増減率(%)		社会増減率(%)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	-0.11	-0.23	-0.46	-0.35	0.35	0.12
(男)	-0.08	-0.24	-0.45	-0.35	0.36	0.11
(女)	-0.13	-0.22	-0.46	-0.34	0.34	0.12
市部	-0.07	-0.20	-0.44	-0.33	0.37	0.13
郡部	-0.39	-0.44	-0.56	-0.44	0.17	0.00
福岡地域	0.50	0.33	-0.16	-0.06	0.66	0.39
筑後地域	-0.65	-0.77	-0.72	-0.60	0.06	-0.17
筑豊地域	-1.14	-1.18	-1.06	-0.95	-0.08	-0.22
北九州地域	-0.74	-0.79	-0.74	-0.62	0.00	-0.18

図3 人口増減数、自然増減数及び社会増減数の推移(昭和48年～令和4年)



## 増加数は福岡市がトップ、増加率は福津市がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が11,824人で最も多く、以下、筑紫野市が916人、福津市が778人となっている。また、人口増加率では福津市が1.15%と最も高く、以下、久山町が0.95%、筑紫野市、粕屋町が0.88%となっている。(表9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	令和4年		順位	令和3年		順位	令和4年		順位	令和3年	
1	福岡市	11,824	1	福岡市	7,193	1	福津市	1.15	1	福津市	0.98
2	筑紫野市	916	2	糸島市	860	2	久山町	0.95	2	糸島市	0.87
3	福津市	778	3	筑紫野市	843	3	筑紫野市	0.88	3	久山町	0.86
4	大野城市	742	4	福津市	656	3	粕屋町	0.88	4	筑紫野市	0.82
5	粕屋町	425	5	粕屋町	341	5	須恵町	0.84	5	粕屋町	0.71
6	須恵町	242	6	大野城市	179	6	福岡市	0.73	6	大刀洗町	0.68
7	小郡市	241	7	筑前町	173	6	大野城市	0.73	7	筑前町	0.58
8	苅田町	231	8	苅田町	128	8	苅田町	0.61	8	福岡市	0.45
9	筑後市	184	9	大刀洗町	105	9	大刀洗町	0.58	9	苅田町	0.34
10	宗像市	151	10	須恵町	91	10	小郡市	0.41	10	遠賀町	0.33

## 2 自然増減数

### 1年間に23,365人(0.46%)減少

1年間の自然増減数は-23,365人(出生者37,013人、死亡者60,378人)で、自然増減率は-0.46%であった。前の1年間に比べると、出生者数は1,048人減少、死亡者数は4,477人増加となった。地域別にみると、全ての地域で減少している。(表10、表11)

表10 自然増減数及び出生・死亡者数(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	自然増減数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	-23,365	-17,840	37,013	38,061	60,378	55,901
(男)	-10,844	-8,534	18,987	19,231	29,831	27,765
(女)	-12,521	-9,306	18,026	18,830	30,547	28,136
市部	-20,011	-15,187	32,634	33,510	52,645	48,697
郡部	-3,354	-2,653	4,379	4,551	7,733	7,204
福岡地域	-4,306	-1,574	21,237	21,609	25,543	23,183
筑後地域	-5,636	-4,767	5,365	5,483	11,001	10,250
筑豊地域	-4,159	-3,786	2,474	2,475	6,633	6,261
北九州地域	-9,264	-7,713	7,937	8,494	17,201	16,207

表11 自然増減率及び出生・死亡率(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	自然増減率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	-0.46	-0.35	7.22	7.41	11.78	10.89
(男)	-0.45	-0.35	7.83	7.91	12.30	11.42
(女)	-0.46	-0.34	6.68	6.96	11.32	10.40
市部	-0.44	-0.33	7.21	7.39	11.63	10.74
郡部	-0.56	-0.44	7.32	7.58	12.93	11.99
福岡地域	-0.16	-0.06	7.87	8.03	9.47	8.62
筑後地域	-0.72	-0.60	6.81	6.91	13.96	12.91
筑豊地域	-1.06	-0.95	6.30	6.23	16.89	15.75
北九州地域	-0.74	-0.62	6.38	6.77	13.83	12.92

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ減少傾向、死亡者数は増加傾向にある。死亡者数が出生者数を上回った平成 23 年以降は自然減少が続いている。(図 4)

また、市町村別にみると、自然増加数は粕屋町 (204 人) が最も多く、自然増加率も粕屋町 (0.42%) が最も高くなっている。(表 12)

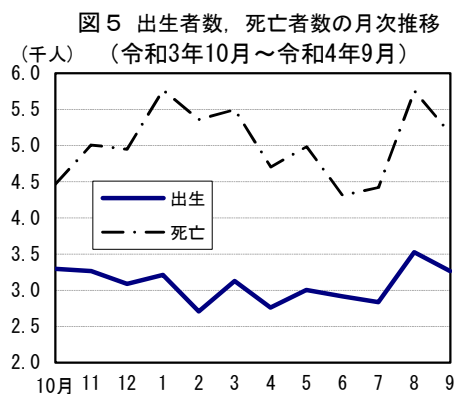
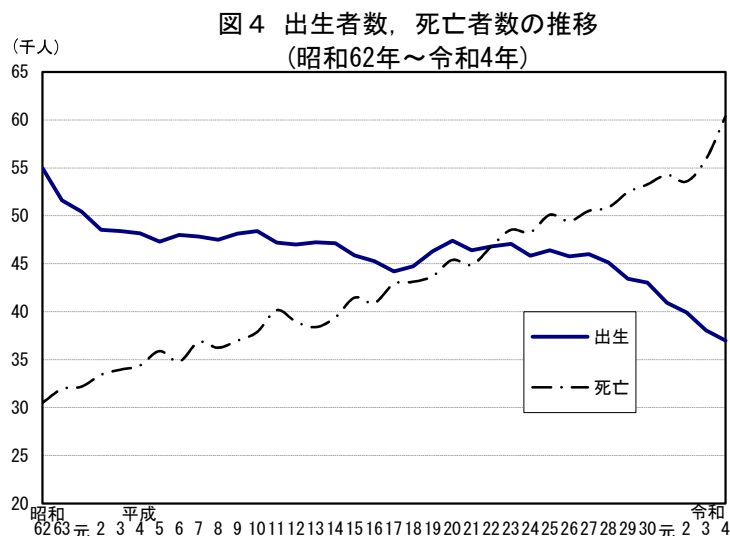


表12 自然増減数及び自然増減率順位(市町村)(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

自然増減数(人)						自然増減率(%)					
順位	令和4年		順位	令和3年		順位	令和4年		順位	令和3年	
1	粕屋町	204	1	粕屋町	291	1	粕屋町	0.42	1	粕屋町	0.60
2	大野城市	75	2	大野城市	142	2	新宮町	0.18	2	新宮町	0.22
3	新宮町	59	3	新宮町	73	3	大野城市	0.07	3	大野城市	0.14
4	大刀洗町	-13	4	福津市	19	4	筑紫野市	-0.08	4	志免町	0.04
5	久山町	-24	5	志免町	18	4	大刀洗町	-0.08	5	那珂川市	0.03
6	東峰村	-35	6	那珂川市	17	6	志免町	-0.11	5	篠栗町	0.03
7	志免町	-50	7	篠栗町	9	6	福岡市	-0.11	5	福津市	0.03
7	赤村	-50	8	久山町	-17	8	那珂川市	-0.12	8	福岡市	-0.02
7	吉富町	-50	9	吉富町	-24	9	春日市	-0.14	9	春日市	-0.03
10	大木町	-56	10	春日市	-28	10	福津市	-0.15	10	筑紫野市	-0.07

### 3 社会増減数

#### 1年間に17,961人(0.35%)増加

1年間の社会増減数は17,961人(転入者287,901人、転出者269,940人)で、社会増減率は0.35%であった。前の1年間に比べると、転入者数は17,518人、転出者数は5,554人それぞれ増加となった。地域別にみると、社会増となったのは福岡地域、筑後地域、北九州地域の3地域である。(表13、表14)

表13 社会増減数及び転入・転出者数(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	社会増減数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	17,961	5,997	287,901	270,383	269,940	264,386
(男)	8,817	2,686	150,064	140,652	141,247	137,966
(女)	9,144	3,311	137,837	129,731	128,693	126,420
市部	16,947	5,984	257,538	242,661	240,591	236,677
郡部	1,014	13	30,363	27,722	29,349	27,709
福岡地域	17,784	10,406	184,514	173,400	166,730	162,994
筑後地域	496	-1,315	31,100	28,136	30,604	29,451
筑豊地域	-323	-890	14,762	14,112	15,085	15,002
北九州地域	4	-2,204	57,525	54,735	57,521	56,939



表14 社会増減率及び転入・転出率(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	社会増減率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
福岡県	0.35	0.12	5.62	5.27	5.27	5.15
(男)	0.36	0.11	6.19	5.79	5.82	5.68
(女)	0.34	0.12	5.11	4.80	4.77	4.67
市	0.37	0.13	5.69	5.35	5.32	5.22
郡	0.17	0.00	5.08	4.62	4.91	4.61
福岡地域	0.66	0.39	6.84	6.45	6.18	6.06
筑後地域	0.06	-0.17	3.95	3.54	3.88	3.71
筑豊地域	-0.08	-0.22	3.76	3.55	3.84	3.77
北九州地域	0.00	-0.18	4.62	4.36	4.62	4.54

転入・転出者数の推移をみると、令和2年及び3年に大幅に減少した後、令和4年は再び増加に転じている。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(13,608人)が最も多く、社会増加率は福津市(1.30%)が最も高くなっている。(表15)

図6 転入者数、転出者数の推移  
(昭和62年～令和4年)

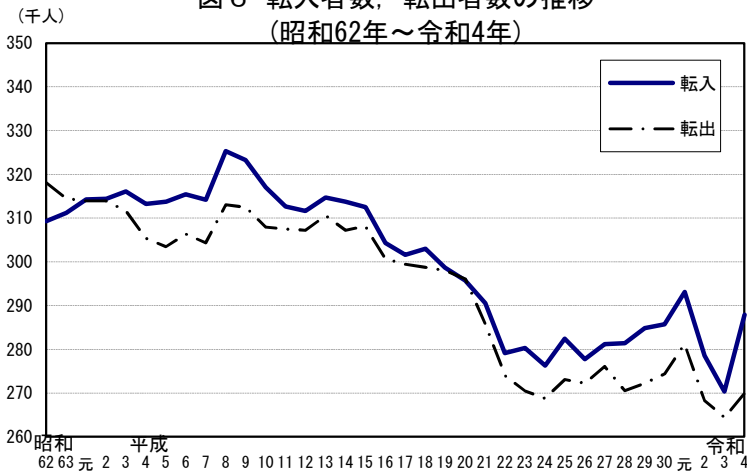


図7 転入者数、転出者数の月次推移  
(令和3年10月～令和4年9月)

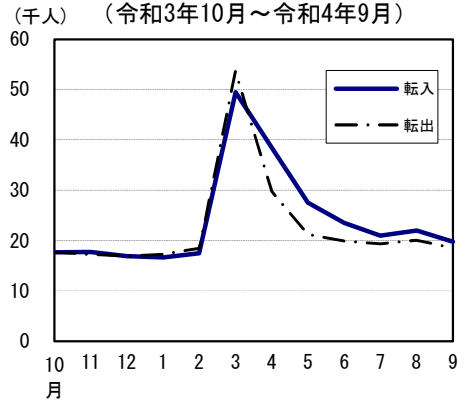


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

社会増加数(人)					社会増加率(%)						
順位	令和4年		順位	令和3年		順位	令和4年		順位	令和3年	
1	福岡市	13,608	1	福岡市	7,511	1	福津市	1.30	1	糸島市	1.26
2	筑紫野市	996	2	糸島市	1,244	2	久山町	1.21	2	久山町	1.05
3	福津市	881	3	筑紫野市	912	3	須恵町	1.11	3	福津市	0.95
4	大野城市	667	4	福津市	637	4	筑紫野市	0.96	4	筑前町	0.91
5	糸島市	637	5	筑前町	270	5	小郡市	0.95	5	筑紫野市	0.88
6	宗像市	567	6	小郡市	261	6	岡垣町	0.86	6	大刀洗町	0.86
7	小郡市	566	7	宗像市	247	7	福岡市	0.84	7	遠賀町	0.79
8	久留米市	341	8	苅田町	168	8	苅田町	0.84	8	大任町	0.56
9	須恵町	318	9	岡垣町	151	9	水巻町	0.67	9	須恵町	0.49
10	苅田町	317	10	遠賀町	148	9	大刀洗町	0.67	9	岡垣町	0.49

表16 県内・県外移動者数の推移(平成6年～令和4年)

4 移動者の状況

(1) 移動者数の状況

移動者数は 394,172 人

1年間の移動者数をみると、県内移動者(県内各市町村からの転入者)が156,350人、県外移動者(県外からの転入者と県外への転出者の合計)が237,822人で、これらを合わせた移動者総数は394,172人となっている。

(表16)

移動者数を年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の86,608人(構成比22.0%)が最も多く、以下、25～29歳の74,073人(同18.8%)、30～34歳の46,287人(同11.7%)の順となっている。(表17)

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成6年	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328
26	378,946	158,763	113,565	106,618
27	384,539	160,226	115,432	108,881
28	382,799	157,261	117,918	107,620
29	389,256	156,729	123,502	109,025
30	392,728	157,090	125,196	110,442
令和元年	403,629	160,460	129,236	113,933
2	378,122	157,442	116,669	104,011
3	369,122	156,971	110,379	101,772
4	394,172	156,350	129,016	108,806

注)平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動(a)	県外移動(b)+(c)	総数	県内(a)	県外(b)	総数	県内	県外(c)
総数	394,172	100.0	156,350	237,822	287,901	156,350	129,016	269,940	156,863	108,806
0～4	22,927	5.8	10,713	12,214	17,432	10,713	6,546	16,573	10,740	5,668
5～9	11,897	3.0	4,663	7,234	8,780	4,663	4,017	7,971	4,663	3,217
10～14	6,152	1.6	2,405	3,747	4,626	2,405	2,158	4,054	2,426	1,589
15～19	23,641	6.0	6,612	17,029	17,193	6,612	10,447	13,322	6,683	6,582
20～24	86,608	22.0	26,657	59,951	60,170	26,657	33,178	54,716	26,890	26,773
25～29	74,073	18.8	29,392	44,681	52,754	29,392	23,054	52,205	29,466	21,627
30～34	46,287	11.7	20,314	25,973	34,292	20,314	13,743	33,202	20,297	12,230
35～39	31,097	7.9	13,404	17,693	23,096	13,404	9,468	21,948	13,403	8,225
40～44	21,108	5.4	8,757	12,351	15,533	8,757	6,603	14,688	8,751	5,748
45～49	17,706	4.5	7,296	10,410	12,992	7,296	5,530	12,350	7,332	4,880
50～54	14,299	3.6	5,791	8,508	10,491	5,791	4,547	9,886	5,818	3,961
55～59	9,910	2.5	4,095	5,815	7,314	4,095	3,127	6,865	4,100	2,688
60～64	7,113	1.8	3,390	3,723	5,526	3,390	2,034	5,145	3,392	1,689
65～69	5,168	1.3	2,798	2,370	4,167	2,798	1,288	3,942	2,797	1,082
70～74	4,712	1.2	2,741	1,971	3,899	2,741	1,081	3,711	2,769	890
75～79	3,020	0.8	1,867	1,153	2,504	1,867	607	2,446	1,872	546
80～84	3,058	0.8	1,884	1,174	2,527	1,884	604	2,487	1,892	570
85～89	3,129	0.8	2,007	1,122	2,633	2,007	602	2,522	1,992	520
90～94	1,715	0.4	1,154	561	1,476	1,154	306	1,420	1,163	255
95～99	481	0.1	352	129	429	352	71	418	357	58
100歳以上	71	0.0	58	13	67	58	5	69	60	8
不詳	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1)転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2)県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、  
県内転入者=県内移動者としている

## (2) 県内移動

1年間の県内移動者数は156,350人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の29,392人(構成比18.8%)が最も多く、以下、20～24歳の26,657人(同17.0%)、30～34歳の20,314人(同13.0%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が98,656人と最も多く、次いで北九州地域の32,816人、筑後地域の14,795人、筑豊地域の10,083人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が45.4%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

		移動先住所別県内移動者数(人)					移動先住所別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所地	県計	156,350	98,656	14,795	10,083	32,816	100.0	63.1	9.5	6.4	21.0
	福岡地域	96,051	80,109	6,177	2,810	6,955	100.0	83.4	6.4	2.9	7.2
	筑後地域	15,539	7,050	7,166	367	956	100.0	45.4	46.1	2.4	6.2
	筑豊地域	10,297	3,123	397	4,822	1,955	100.0	30.3	3.9	46.8	19.0
	北九州地域	34,463	8,374	1,055	2,084	22,950	100.0	24.3	3.1	6.0	66.6

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

## (3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は237,822人となっている。このうち、転入者が129,016人、転出者が108,806人で、20,210人の転入超過となっている。(表17)

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の64.0%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の59,951人(構成比25.2%)が最も多く、以下、25～29歳の44,681人(同18.8%)、30～34歳の25,973人(10.9%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比  
(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	237,822	100.0	129,016	100.0	108,806	100.0
市部	217,156	91.3	118,347	91.7	98,809	90.8
郡部	20,666	8.7	10,669	8.3	9,997	9.2
福岡地域	152,210	64.0	84,386	65.4	67,824	62.3
筑後地域	30,494	12.8	16,000	12.4	14,494	13.3
筑豊地域	8,914	3.7	4,482	3.5	4,432	4.1
北九州地域	46,204	19.4	24,148	18.7	22,056	20.3

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

**転入者は国外、転出者は東京都が最多**

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、最も多いのは国外からの転入で 23,557 人、次いで東京都の 11,549 人、長崎県の 8,814 人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の 14,932 人、熊本県の 8,375 人、国外の 7,919 人の順となっている。(表 20, 表 21)

**表20 従前住所地別県外転入者順位  
(令和3年10月1日～令和4年9月30日)**

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	129,016	100.0
1	国外	23,557	18.3
2	東京都	11,549	9.0
3	長崎県	8,814	6.8
4	熊本県	8,731	6.8
5	佐賀県	7,428	5.8
6	大分県	6,930	5.4
7	大阪府	5,912	4.6
8	鹿児島県	5,831	4.5
9	神奈川県	5,253	4.1
10	山口県	5,064	3.9

**表21 移動後住所地別県外転出者順位  
(令和3年10月1日～令和4年9月30日)**

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	108,806	100.0
1	東京都	14,932	13.7
2	熊本県	8,375	7.7
3	国外	7,919	7.3
4	佐賀県	6,994	6.4
5	大阪府	6,393	5.9
6	大分県	6,198	5.7
7	長崎県	6,062	5.6
8	神奈川県	5,672	5.2
9	鹿児島県	4,706	4.3
10	愛知県	3,919	3.6

**筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動**

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、全ての地域で国外が最も多く、福岡地域では 14,775 人、筑後地域では 3,675 人、筑豊地域では 787 人、北九州地域では 4,320 人となっている。(表 22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の 10,621 人、筑後地域で佐賀県の 2,068 人、筑豊地域では国外の 529 人、北九州地域では東京都の 2,474 人が最も多くなっている。(表 23)

4 地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

**表22 地域別転入者の従前の住所地順位(令和3年10月1日～令和4年9月30日)**

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	国外	14,775	国外	3,675	国外	787	国外	4,320
2	東京都	8,688	佐賀県	1,867	東京都	332	山口県	2,134
3	長崎県	6,619	熊本県	1,702	大分県	313	大分県	1,832
4	熊本県	5,652	東京都	907	熊本県	273	東京都	1,622
5	佐賀県	4,646	長崎県	863	長崎県	252	熊本県	1,104
6	大阪府	4,227	大分県	764	大阪府	210	長崎県	1,080
7	鹿児島県	4,198	神奈川県	682	鹿児島県	210	大阪府	1,024
8	大分県	4,021	鹿児島県	610	愛知県	202	愛知県	953
9	神奈川県	3,483	大阪府	451	神奈川県	173	神奈川県	915
10	宮崎県	2,754	宮崎県	415	佐賀県	171	広島県	909

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	10,621	佐賀県	2,068	国 外	529	東京都	2,474
2	熊本県	5,060	熊本県	1,850	東京都	502	大分県	1,890
3	国 外	4,373	東京都	1,335	大分県	280	国 外	1,853
4	大阪府	4,362	国 外	1,164	熊本県	274	山口県	1,532
5	長崎県	4,275	大分県	753	大阪府	250	熊本県	1,191
6	佐賀県	4,092	長崎県	683	神奈川県	231	神奈川県	1,186
7	神奈川県	3,670	大阪府	601	長崎県	208	大阪府	1,180
8	鹿児島県	3,279	神奈川県	585	佐賀県	191	愛知県	906
9	大分県	3,275	千葉県	524	山口県	182	長崎県	896
10	千葉県	2,400	愛知県	501	千葉県	180	鹿児島県	782